



# 日本外装NEWS

2025年  
7月  
vol.13

発行：日本外装株式会社 / 〒216-0031 神奈川県川崎市宮前区神木本町1-9-17 TEL 0120-773-007



### 私たちにしかできないことを目指して



## 世界でいちばん暑い夏



今年も暑い季節がやって参りました。空調服や休憩中の車内でのサーキュレーター使用など、暑さへの対策はもちろん、水分補給をこまめに行い、万全の熱中症対策で現場作業にあたっております。皆さまにおかれましても、熱中症にはくれぐれもお気を付けください。さて、日本外装は過去にお世話になったお客様のもとを巡回させていただき、工事した箇所にも不具合が発生していないか、建物のことでご不安はないか、お話を伺わせていただいております。工事の際、1年でも2年でも長持ちするよう、使用する材料と工事の内容を十分検討を重ねた上でご提案させていただいているのは言うまでもありませんが、それでも5年、10年と年を重ねると、施工箇所にも多少の劣化が現れてくるのは致し方ありません。また、当時の工事の折にはまだ丈夫で、施工を見送った箇所も、時間の経過で工事時期を迎えているかも知れません。アフターサービスの一環として、前回工事から一定期間を過ぎたお客様を中心として巡回させていただいておりますので、お困りごと・ご不安の点、何でもご相談ください。点検のご要望も承ります(点検をご希望の際は、別日で段取りを取らせていただく場合がございます)。もちろん、訪問をきっかけにご検討いただき、後日改めてお電話でご相談いただいても大丈夫です。建物の不安を解消してから、台風のシーズンを迎えられることをお奨めいたします。世間話も大歓迎です！突然の訪問で驚かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、その際はどうぞよろしくお願いたします。



空調服を着用しての作業風景。日本外装のスタッフも空調服ユーザーが増えました。

外装  
ノート

## 鉄部塗装は細やかさが決め手！

前編



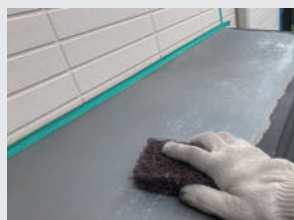
ニュースレターでは外壁塗装について記事を掲載することが多いですが、鉄部やアルミの塗装も日々の工事の一環で行なっております。鉄部塗装は外壁塗装に比べて施工面積が小さいことが多いですが、鉄部塗装の出来栄で、建物全体の印象が変わることもあります。そして、鉄部塗装の仕上がりの決め手となるのは、丁寧さ・細やかさに他なりません。先日、戸建てのシャッターボックスの塗り直し工事がありましたので、そちらの施工内容を紹介しながら、今号・次号の2回にわたって鉄部塗装の説明をさせていただきます。

### 1. 塗装養生



塗装作業に欠かせないのが、この養生作業。施工箇所以外に塗料が付着したり、飛沫が飛んだりして汚すことのないように、念入りに行います。場合によっては、塗りの作業そのものよりも時間をかけて行う場合もあります。

### 2. ケレン・目荒らし



施工面の古い塗料の剥がれを金ペラで除去したり、ナイロンたわしなどで施工面を擦って傷をつけたりします。施工面をあえて傷つけることで、塗料の密着性を高めることとなります。塗装を長持ちさせるための重要な作業です。

### 3. 錆止め塗布



鉄部の大敵である、錆。錆が発生してしまうと美観が損なわれるだけでなく、鉄部の強度が低下し、腐食のリスクが高まってしまいます。しっかりと錆止め塗料を塗ってから、次号、いよいよ中塗り、上塗りの工程へと進んでいきます。

### 今回使用した材料



錆止め塗料には、関西ペイントのスーパーザウルスIIを選定しました。防食性に優れている上に、鉛化合物などの有害物質を含まない、環境に優しい塗料です。

中塗り・上塗りは後編で！

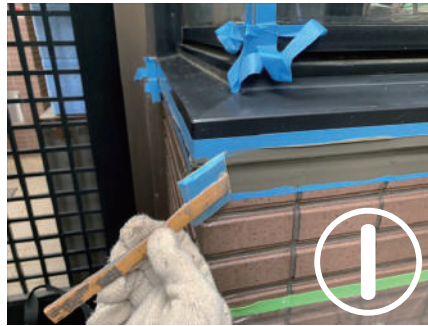
# 現場風景

最近の現場のようす、作業の内容をお伝えします

## 多摩区 個人宅



本日の現場は雨漏り補修です。先刻行なった散水調査により、サッシまわりのシーリング、窓下のタイル面から雨水が浸入していることがわかっています。その調査結果をもとに補修を進行します。まずサッシ皿板下部シーリング材の打ち替えを行い(画像①)サッシ皿板上部のシーリング処理を行います(画像②)。他にも、継ぎ目やジョイント部など、サッシまわりに関連する隙間は可能な限りシーリング施工をします。今回はサッシまわりだけでなく、タイル面の不具合からも雨水の浸入が見られたので、タイル面専用の透明塗膜防水材料での施工を行います(画像③)。下塗り・主材4層・上塗り2層の計7工程で、タイル面からの雨水浸入を徹底的にシャットアウト。最後に端部や金物まわりのシーリング処理を行い(画像④)、施工完了となりました。



①



②



③



④



## 目黒区 個人宅

雨漏り修理の現場です。散水調査を行なったところ、3Fバルコニー周辺の外壁全体に不具合があることがわかりました。3Fバルコニーより上の外壁を大きく撤去し、二次防水をしっかり行い、モルタル塗りにて外壁を修復したのち、防水性と断熱性を兼ね備えた塗料で仕上げる施工計画となりました。外壁を撤去してみると(画像①)、外壁がラスカットで施工されていたことがわかりました。木下地の腐朽・劣化・損傷が激しく、早急な修理を必要とする状況です(画像②)。なお、ラスカットは外壁の下地に用いる材料で、予めモルタルが塗られている便利な下地材ですが、適切な工程で施工されなかった場合、今回のような不具合を引き起こすこととなるので、メーカーの定める仕様どおりに施工することが重要です。木下地の劣化部を撤去、木下地の修理・補強を行います(画像③)。下地の腐朽・劣化がかなりの広範に及んでいたため、木下地の修理にかなりの時間を要しました。木下地が完成したら、アスファルトフェルトを張ります(画像④)。アスファルトフェルトは原紙(フェルト)にアスファルトを染み込ませた防水紙で、今回のようなモルタル外壁の場合には必ず使用され、経年劣化によるひび割れ等でモルタル外壁(一次防水層)の内側に雨水が浸入してきた時、二次防水層として(次頁へ続きます)



①



②



③



④



⑤



⑥

建物を守ります。アスファルトフェルトの上にはメタルラスという網を張ります(画像⑤)。メタルラスはモルタル塗りを行う際に下地として張られる金属製の網です。むき出しの木下地にそのままモルタルを塗っても上手く密着せず、時間が経つと剥落してしまいますが、メタルラスを張ることでモルタルがしっかりと食いつくようになります(画像⑥)。モルタルが終わればあとは仕上の段階に入ります。今回は高い防水性と断熱性をもつ塗料「ドリームコート」で塗装を行いました(画像⑦)。ドリームコートは伸縮性に富み、塗膜が外壁の動きに追従するため、施工後のひび割れのリスクを大幅に軽減できます。砂骨ローラーという専用のローラーで厚みを十分につけて重ね塗りし、外壁は施工完了となりました。今回、外壁の上端の笠木の劣化も気になったため、こちらの交換工事も併せて行いました(画像⑧)。既存笠木を撤去、天板の木材の張り直し、アスファルトルーフィング張り、金属の笠木を新しく取りつけて完了です。仕上げにシャッターボックスやサッシ、庇などの接合部にも念入りにシーリング処理を施し、工事完了となりました。



## 結果報告

## 前号のアンケート企画



たくさんのご応募ありがとうございました！

前号『日本外装NEWS vol.12』内の記事で、「読者アンケートにお答えいただくとともに1000円QUOカードをプレゼント!」という企画を行いました。たくさんの読者の皆さまから、貴重なご意見・ご要望を頂きました。日々、どんな記事がお客様に役立つか、どんな内容が喜ばれるか、試行錯誤しながら記事づくりにあたっておりますが、今回、読者の皆さまの率直なご意見を知ることができ、私たちにとっても非常に有意義な企画となりました。本記事では、お寄せいただいたご意見のいくつかをご紹介します。

### Q. ニュースレターに今後充実を期待する記事をお聞かせください

#### ベスト5

- 1位 施工技術に関する内容
- 2位 自分でできる建物メンテナンス
- 3位 工事の種類
- 4位 材料の種類
- 5位 活動報告



#### 編集部コメント

読者の皆さまが、私たちが考える以上にテクニカルな内容にご期待されていることに、少なからず驚かされました。また、ご自身での建物メンテナンス方法を知りたいというお声も多く聞かれ、読者の皆さまの意識の高さに脱帽しました。社員一同、身が引き締まる思いです。今後ニュースレターでは、施工に関する内容をより多く盛り込んでいこうと思います。

### Q. 今後、記事で新たに提起してほしい話題を教えてください

- ・詐欺被害の実例の紹介
- ・自分で出来る雨漏り対策
- ・使える補助金情報、昨今の真夏日に耐久力のある屋根材
- ・よくある気になる状況についての分析と、ケース毎にどのような施工が適切かの説明

#### 編集部コメント

私たちも、ここ数年の夏期の異常な気温上昇には頭を悩ませておりますが、建物のオーナー様にとっても深刻な問題です。それに伴うコストに関しても関心が高まっていることと思います。雨漏り対策や詐欺被害についても、これまで以上に記事を充実させてまいります。

たくさんのご意見・ご感想をお寄せいただき、ありがとうございました。皆さまがご興味を持って読まれているということがアンケートからわかり、大層感激いたしました。今回頂いたご意見をもとに、ますます皆さまに親しまれるニュースレターづくりを心掛けてまいります。引き続き、日本外装NEWSをよろしく願います。

## 雨漏り調査、私たちにお任せください

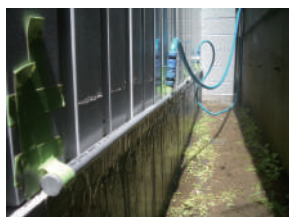
皆さまの大切な建物に雨漏りが起きてしまった時、雨漏り補修をして雨漏りを直そうと考えますが、まずは雨漏りの原因箇所を特定しなくては補修のしようがありません。それと思いき箇所をやみくもに補修しても、雨漏りが直らないどころか、雨漏りを悪化させてしまうことさえあります。雨漏り補修の技術はもちろん重要ですが、それ以上に、確実性の高い雨漏り原因究明を行うことが肝要です。雨漏りにお困りの際は、まずはお電話かメールにてご相談ください。雨漏り診断士ライセンスを持つスタッフが多数在籍する日本外装が、雨漏り原因箇所の特定から補修まで、責任を持っておこないます。雨漏りのことなら、創業33年のノウハウと実績のある日本外装にお任せください！



散水調査風景。シャワーヘッドで散水。エアコンの管が壁を貫通し、室内から室外機へ伸びています。このような箇所は雨水の浸入箇所である可能性があります。



塩ビ管を加工して製作した、「T字」と呼ばれる散水器具。横一列に小さな穴がたくさんあり、水が出ます。壁全体に散水したいときに活用します。



T字を下方にセットし、外壁と建物基礎の取合いに水がかかるように散水しています。異なる部材同士の接合部のことを取合いと呼び、雨漏りと関連性を持つ場合が多いです。



浸入箇所が分かったら...?

### 補修



調査で浸入箇所がわかれば、いよいよ補修工事を行います。雨漏りの状況・原因によっては、写真のように壁の内部から補修を施す、本格的な工程を要する場合があります。

## 編集後記

この記事を書いているのは6月ですが、梅雨とは思えない異常な暑さです。7月以降、ますます暑くなっていくことを想像すると、先が思いやられます。平日は一日中現場にいることもあり、疲労でヘトヘトになってやっと週末を迎えるのですが、子供がいるとエアコンの効いた室内で一日ゆっくり過ごすなどというのは夢物語です。先日も、長男の子ども会のじゃがいも掘りに一家で参加してきました。子ども会は初めての参加でしたが、ものすごい参加人数で、ついもらえるじゃがいもの数の心配をしてしまったのですが、いざじゃがいも掘りが始まると出るわ出るわ、持ち帰れないほどの収穫でした。ちょっとの畑仕事で一家全員汗だくで疲労困憊でしたが、農家は毎日なんですよ。農家の方々への尊敬の念を禁じ得ません。



編集者プロフィール  
大沼和正 入社4年目 主に現場管理とニュースレターの刊行を担当



収穫されたじゃがいも。これはほんの一部で、この5倍以上はありました。次男はミミズさがしに夢中でした



神奈川県川崎市宮前区神木本町 1-9-17  
9:00 ~ 20:00 / 土・日・祝も営業

0120-773-007

日本外装公式SNS

【X】

【Instagram】

【Youtube】



### 日本外装公式サイト

防水工事・塗装工事・総合改修工事・雨漏り調査＆補修をご検討されている方、右のQRコードからどうぞ！



### スタッフブログ更新中！



毎週更新中！ 外装工事のお役立ち情報から雑談までお届けします。ぜひQRコードからご覧ください！

### ニュースレター第13号アンケートのお願い

皆様のご意見をお聞かせください。今後の編集に活かしてまいりますので、ご協力いただけますと幸いです。

